

新居浜高専

創立60周年記念講演会

2022年11月7日(月) 13:30~15:40

新居浜市市民文化センター大ホール

・基調講演

持続可能な社会の構築に向けて —若者が夢を抱ける社会—

長岡技術科学大学 学長 鎌土 重晴



【講師プロフィール】

1957年生まれ。愛媛県出身。工学博士（豊橋技術科学大学）。専門分野は材料加工・組織制御工学、構造材料・機能材料工学。昭和53年3月新居浜工業高等専門学校金属工学科卒業。昭和55年3月豊橋技術科学大学工学部卒業。昭和57年3月豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程修了。同年4月から津山工業高等専門学校助手、平成2年から講師。平成3年から長岡技術科学大学助手、平成4年から助教授、平成16年から教授。理事・副学長を経て令和3年4月から現職。

・講演 最近の新居浜高専の活動から

当日のスケジュール

- 12:30 開場
- 13:30 開会挨拶 来賓祝辞 来賓紹介
- 13:40 基調講演
~14:30 持続可能な社会の構築に向けて
—若者が夢を抱ける社会—
- 14:30 休憩
- 14:40 講演
~15:40 最近の新居浜高専の活動から
- 15:40 閉会挨拶

参加申込はこちら→
または[本校HP](#)から



- ・参加者は、本校学生、教職員、退職教職員、同窓生、新居浜高専技術振興協力会(愛テクフォーラム)会員に限らせていただきます。
- ・事前申込制といたします。なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。また、新型コロナウイルスの感染状況により、中止またはオンラインでの開催となる場合もありますのでご了承ください。
- ・ご来場の際には、検温やマスクの着用にご協力をお願いいたします。体調によっては入場をお断りする場合がございます。

最近の新居浜高専の活動から

講演 1 :

新居浜高専の特色ある教育の取組 — 地域の実践的人材育成を目指して

電気情報工学科 教授 加藤 克巳



新居浜高専では、地域課題解決や地域で活躍できる実践的人材育成を狙いとして、現在、学科横断型の3つの特別課程を開講している。これらの特別課程は、授業の実施等にあたり、地域企業と連携して実施しており、本校の特色ある教育の取組の一つとなっている。今回、その実施状況について紹介する。

講演 2 :

国立高専における「究極のものづくり教育」 としての人工衛星開発

電気情報工学科 准教授 若林 誠



本校では「国立高専で連携した人工衛星開発と、それに関連した人材育成」を目指した活動が継続的に行われており、その成果として国立高専で初めて開発した人工衛星の1号機「KOSEN-1」の打ち上げ・運用の成功が挙げられる。2号機のKOSEN-2の開発も完了間近で、これら一連の衛星開発を主軸とした「究極のものづくり教育」について紹介する。

講演 3 :

地域に根差したAI応用研究

電気情報工学科 准教授 加藤 茂



AIで最も活用されている人工ニューラルネットワークおよび、画像認識で活用されている畳み込みニューラルネットワークについての発展の経緯について簡単に紹介する。そして、新居浜高専における地域と連携したAI応用研究事例である溶接やスギ角材の表面状態の自動評価、欠陥検出などについて紹介を行う。

講演 4 :

正岡子規と森盲天外—愛媛の先人に導かれて

一般教養科 准教授 沼田 真里



私は正岡子規研究において、特に子規の〈障害当事者作家〉の先駆者としての意義と死生観に着目し、子規独特の美学について分析してきました。また、子規と交流のあった政治家・森盲天外は日本初の盲人村長として功績を残す傍ら、雑誌「ホトトギス」に寄稿し、自伝『一粒米』など多くの文章を残した稀有な存在です。私の直近の研究目標は、この愛媛の偉大な先人二人の再評価です。

